

「道徳の時間」学習指導案（略案）

- 1 学 年 第3学年
- 2 主題名 「よりよく生きる」（内容項目D-（22）よりよく生きる喜び）
- 3 ねらい 智行の心の変化を考えることを通して、自分の弱さや醜さに向き合い、それを克服しようとする強さや気高さに気付くことで、人間として生きることの喜びを見出そうとする態度を育てる。
- 4 教材名 「二人の弟子」（出典：「私たちの道徳」中学校 文部科学省）
- 5 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される生徒の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導 入	1 課題意識をもつ。	○ あなたには、弱いところや醜いところがありますか。 ・たくさんある・少しある・あまりない・全くない ○ そんな自分を、どう思いますか。 ・直したい。 ・仕方ない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分の弱さや醜さを克服するためにはどうすればよいだろうか。</div> ○ 登場人物の簡単な紹介をします。	○ 弱さや醜さは誰もがもっていることを確認し、ねらいとする道徳的価値へ課題意識をもたせる。 ○ 登場人物の簡単な紹介を行い、状況を把握しやすくする。
展 開	2 教材「二人の弟子」の前半（139項3行目まで）を読んで話し合う。 3 教材の後半を読んで話し合う。	○ 智行の中で何が問題になっていますか。（何に納得がいかないのか。） 【道信に対して】 ・自分はこんなに努力してきたのに、今更戻ろうとする考えが甘い。ずるい。嫉妬。 ・苦しい修行をしてきた自分には何もなくて逃げた人が許されるのは納得できない。悔しい。怒りの気持ち。 【上人に対して】 ・上人がなぜ道信を受け入れるのか理解できない。不信感。 【自分に対して】 ・自分の今までの苦労は何だったのか、自分の努力が否定されたような絶望感。 ◎ 純白に輝く一輪の白ゆりに圧倒され、あふれる涙を止めることができないまま立ち尽くしている智行は、どんなことを考えていたのだろうか。 【弱さや醜さの自覚】 ・道信は自分と向き合っているのに、自分は向き合えていない。 ・自分は頑張っていると思っていたが、まだ足りない部分があると気付いた。 ・道信を受け入れられないのは自分の弱さや醜さのせいだと知った。 ・人と比べるばかりで、自分の弱さと向かい合っていないことに気づき後悔の思いがあった。 ・上人に自分の醜さを指摘されたような気がして反省した。 【克服しようとする心】 ・自分は変わらないといけないと思った。	○ 「智行の思いがわかりますか。それはどんなところですか。」と補助発問し、裏切った道信とその道信を受け入れた上人に対して怒っている智行へ共感させることで、自分の中にも智行と同じ弱さや醜さがあることに気付かせる。 ○ 「純白の輝き」「あふれる涙」「立ち尽くす」等の言葉に着目させることで、自身の弱さに気づき、向き合おうとする智行の姿に気付かせる。 ○ ペアトーク等を取り入れながら理由を深めさせる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・自分も道信のように自分と向かい合うことをしていく必要がわかった。 ・これから、よりがんばっていこう。 <p>[問い返し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上人の言葉「人は皆、自分自身と向き合って生きていかねばならないのだ」の意味はどういうことだろう。(上人は何を伝えたかったのだろう。)(この言葉から智行は何を考えたのだろう。) ・人と比べずに自分自身と向き合うことの大切さ。 ・人には弱いところがあるが、克服しようとするのが大切だ。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の弱さや醜さを克服するためには具体的にはどうしていくことが必要だと思いますか。 ・弱さや醜さを知ろうとすること。 ・自分のことを知り、変えていこうとすること。 ・自分自身が弱さを知ること、よりよい姿をめざすスタートにたてる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問い返しにより、上人の言葉の意味を考えさせることで、人間は何度でも真面目にやり直せることができ、醜さを乗り越え「変わろうとする自分」の尊さに気付かせる。 ○ 導入でもたせた課題に対する、自分の考えを整理させる。
終末	<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>5 「私たちの道徳」の生徒作文を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の学習や自分自身を振り返って、考えたことを書きましょう。 ・弱さ自体よりも弱さを見ようとしなないことが問題なのだったと思った。人と比べずに自分自身をみつめようとしたところが智行のよさだと思った。 ・自分の嫌なところを認めることはしんどいことだけど、それも含めた姿が本当の自分なので、弱いところを認めて、そこを変えていく努力が大切だと思った。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「私たちの道徳」の生徒作文を聞いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のこれまでの生活と重ねて考えさせることで、考えの深まりを自覚させ、自分の生き方につなげさせる。 ☆ 自分と向き合い乗り越えようとしている姿について自分とのかかわりで捉えている。(発言・ワークシートへの記述) ○ 「私たちの道徳」P122の生徒作文を紹介して、日常生活での実践意欲が高まるようにする。

6 板書計画

